国家の舞台で、ベトナムと結ぶ

日越官民フォーラム — IETDSOとベトナム国家大学ホーチミン市校が包括連携協定を交換



文書交換 — IETDSOの空本誠喜代表理事と、ベトナム国家大学ホーチミン市校のグエン・ティ・タイン・マイ学長　撮影：豊崎禎久



日越協力文書交換式 — 両国の協力文書が一斉に交換された　2026年11月9日

MCSCC SCORE

都市の調和を、市民の満足へ

Movement No.2

第2楽章 — ベトナム

Smetana — “Vltava”

ホテルニューオータニ東京（東京都） — 2026年11月9日　　会員向け活動報告（イベントドリブン発行）

国家の舞台で、ベトナムと結ぶ

IETDSOとベトナム国家大学ホーチミン市校が包括連携協定を交換

2026年11月9日、トー・ラム共産党書記長兼国家主席の公式実務訪問にあわせて、「日本・ベトナム経済・科学技術官民連携フォーラム」がホテルニューオータニ東京で開催されました。MCSCCの豊崎禎久代表理事は、学術会員団体である国際エネルギー＆テクノロジー開発支援機構（IETDSO）のアドバイザーとして出席。トー・ラム書記長の基調講演に続くMoU・協力文書交換式では、IETDSOとベトナム国家大学ホーチミン市校（VNUHCM）の包括的連携協定が交換されました（登壇は空本誠喜IETDSO代表理事）。

フォーラムのポイント

♪ **国家レベルの舞台** — 主催はベトナム財政省・科学技術省と駐日ベトナム大使館、共催は総務・財務・文部科学・経済産業・国土交通の5省とジェトロです。トー・ラム書記長兼国家主席が基調講演を行い、日本側は4閣僚が挨拶に立ちました。国家レベルの枠組みの中で動く一日となりました。

♪ **大学との包括連携** — IETDSOとベトナム国家大学ホーチミン市校（VNUHCM）の包括的連携協定を交換しました。相手方のグエン・ティ・タイン・マイ学長は、ベトナム共産党中央委員と同大学党委員会書記、第16期国会議員を兼ねる、同大学史上初の女性学長です。翌10日には、訪問団の文部科学省表敬（原克彦国際統括官が対応）と東京大学総長表敬に、IETDSOとして同行しました。訪問団は同日、帰国の途につきました。

♪ **会員の活躍** — MCSCC会員のオーシャンソリューションテクノロジー（佐世保市、水上陽介社長）も、LPWAの宇宙活用でMOUを締結しました。海のデータと宇宙をつなぐ取り組みは、都市階層化設計の「宇宙」の層そのものです。同じ舞台に、協議会と会員の二つのMOUが並びました。

次の楽章へ

12月の会談へ — 12月には、ベトナム側の副首相・大臣・大学学長らとの会談が予定されています。11月23日から12月4日には、ブルガリアとベトナムへの出張も控えています。

日　程	2026年11月9日（フォーラム）・10日（表敬訪問）
会　場	ホテルニューオータニ東京「芙蓉の間」
行　事	日本・ベトナム 経済・科学技術官民連携フォーラム／VNUHCM訪問団の文部科学省・東京大学表敬
出　席	豊崎禎久 代表理事（IETDSOアドバイザーとして）／空本誠喜 特別顧問（IETDSO代表理事、MOU登壇）
テーマ	スマートシティ、AI・半導体、教育・研究連携、LPWAの宇宙活用

写真で見るフォーラム



基調講演 — トー・ラム共産党書記長兼国家主席（2026年11月9日、ホテルニューオータニ東京）



日本側の閣僚 — 片山さつき財務大臣、藤井比早之総務大臣、関芳弘文部科学大臣、赤澤亮正経済産業大臣が挨拶に立った



会員とともに — MCSCC会員のオーシャンソリューションテクノロジー、水上陽介社長と。水上社長もLPWAの宇宙活用でMOUを締結しました

写真で見る表敬訪問



文部科学省表敬 — グエン・ティ・タイン・マイ学長を団長とするベトナム国家大学ホーチミン市校（学生・院生等11万人超を擁するベトナム最大の大学）の訪問団と、原克彦国際統括官ら文部科学省側、IETDSO同行者（2026年11月10日、文部科学省）



記念品の交換 — マイ学長から原克彦国際統括官へ、蓮の刺繍の額が贈られました